

森林再生の金メダル

1964年まで、オリンピックはほぼ独占的に北アメリカあるいはヨーロッパで開催されていました。したがって、1964年の夏季オリンピックが東京で開催され、そしてそのわずか2年後に札幌が1972年冬季オリンピックの開催地に出選されたことは非常に大きな出来事でした。これまで1度もオリンピックを開催したことのない日本が、10年の間に2度も開催することになったのです。アルペンスキー滑降種目の競技会場に選ばれたのが、支笏湖の北西にある恵庭岳でした。恵庭岳は支笏洞爺国立公園内にあり、古くからある美しい森林の一部を切り倒してスキー場を建設するという計画は大きな物議を醸しました。札幌市に近い他の山々はスキージャンプ、スラローム、ボブスレーなどの競技に使用されることになっていましたが、わずか10日間のスポーツイベントの施設を作る為に、なぜ恵庭岳が傷つけられなければいけないのでしょうか？

最終的には、恵庭岳の使用に反対していた人々は説得されました。理由の一部は、札幌オリンピックが閉幕するや否やこのイベントの為に建設された施設は全て取り除かれ、環境を回復させるという約束があったからです。約束通り、施設とゲレンデはオリンピックの閉幕と同時に取り壊され、回復作業が始まりました。新たな樹木が植えられ、継続的なメンテナンスが何年も続きました。今日、まだ全長2キロのスキーコースがどこにあったかを見ることができますが、恵庭岳はほぼオリンピック前の状態まで回復しており、間もなく完全に元通りになるはずで